



みやこ町社会福祉協議会

みやこ町犀川古川 50 番地
みやこ町コミュニティセンター「いこいの里」内

No.75
2024.10.1

社協だより

赤い羽根共同募金運動が始まります

運動期間 令和 6 年 10 月 1 日 ~ 12 月 31 日

皆様のご協力をお願いします



昨年度は皆さまの善意により 3,658,195 円の募金が集まりました。多くの皆さまから様々な形でご協力いただき、誠にありがとうございました。皆さまからいただいた赤い羽根共同募金は、地域サロンの活動助成や小学生の福祉教材、黄色い帽子の配布、赤ちゃん出産お祝い事業、災害用備蓄品など、みやこ町内の福祉活動の場に活用させていただいております。



豊津児童クラブ

夏のおもいで
たくさん
できました!



防犯教室

防犯教室では、行橋警察署の警察官の方に、事故や事件に巻き込まれないように心がける「いかのおすし」について教えて頂きました。

「いかのおすし」は、防犯意識を高めるための行動指針として、子ども達へ伝えられています。そのうちの「お」は「知らない人に連れていかれそうになったら大きな声を出す」を意味します。声量を測定する機械を使って、大きな声を出す練習をしました。いざという時に、大きな声で助けを求めるのはなかなか難しいので、良い練習になりました。

高学年になるにつれて乗る機会も増えてくる自転車ですが、動画を見て自転車に乗る時のルールやマナーも学びました。特に、6年生は、中学生になると登下校などで自転車に乗ることが増えてくるので、良い勉強になりました。

夏休み後半には、犀川いこいの里にてむかし遊びに取り組みました。犀川地区のボランティアの皆さんと一緒に、竹とんぼ・コマ回し・しゃぼん玉などで遊びました。竹とんぼやコマは飛ばし方・回し方にコツが必要で、最初は全然上手くいかなかった子ども達ですが、ボランティアの皆さんにコツを教えてもらって、だんだん上手にできるようになっていました。

みんなの食堂実行委員会の協力のもと、昼食はカレーライスをいただきました。沢山遊んだ後のカレーライスはとっても美味しかったです。「おかわり!」と元気いっぱいの子も達で行列ができていました。

とっても楽しい夏休みになりました。



むかし遊び



カレーライス

赤い羽根共同募金の使い道

赤い羽根共同募金とは、「じぶんの町を良くするしくみ」です。みやこ町に暮らすすべての人たちが助け合い、自分らしく生活ができるようにと取り組まれている活動に助成をしています。

みやこ町で集められた募金の約7割はみやこ町の活動に助成され、残りの約3割が福岡県内で助成されています。ここでは、赤い羽根共同募金の助成を受けた支え合い活動をいくつかご紹介します。

高齢者福祉

ふれあい・いきいきサロン

みやこ町では、現在35カ所の地域でサロン活動が開催されています。そのうち32カ所の地域が赤い羽根共同募金の助成を受けています。



私は母の介護のためにみやこ町に帰ってきました。地元には、当時の友人は残っておらず、母の介護が終わったらひとりぼっちになってしまうのかな…。と不安に思っていました。そんな時にサロンのお誘いが来て、勇気を出して参加してみました。今ではたくさんのお友達ができてサロンに通うのが楽しみになっています。

サロン参加者の女性



毎月発行される「いいきき通信」では各地域の活動を紹介しています。社協窓口、各公共施設、各地区図書館などに掲示してあるほか、ホームページにも掲載しております！

在宅介護者の会 井戸端会議



井戸端会議では、みやこ町内の在宅で介護をされている方同士が、お互いの「気持ち」や「近況」などを同じ介護をしている立場として気軽におはなしをしています。

お仕事増加につき 就労継続支援B型利用者の方募集中

(障害者分野)ご本人のペースで通所できる作業所です
★みやこ町は送迎可能エリアです★

お仕事内容 (時給表示)	作業時間 / 9:45~11:50・13:00~17:00
☆草刈(委託作業)	700円~
☆内職	400円~
☆ハウスクリーニング等	600円~
☆ポストイング	600円~
☆洗濯(中古車販売店)	700円~
☆草刈・草取(個人宅等)	600円~
☆公共施設・ビル(委託)清掃	800円~
☆工場内造園作業	800円~

社会福祉法人 共生の里 夢活動センター行橋 (就労継続支援B型)
【連絡先】 0930-24-8866 【携帯】 080-3907-8309
※見学・体験のみも可能です。お気軽にお問い合わせください。(担当: 鍋山)

利用者さん募集中!

ご本人のペースで通所・作業ができるアットホームな作業所です!

- 中作業 (内職、洗濯など) 工賃: 350円~750円/1時間
- 外作業 (洗濯、草取りなど) ※作業内容によります。
- 作業以外にもバスバイクや絵画教室など様々なプログラムがあります!
- 送迎もあります!

社会福祉法人 共生の里 夢活動センター秋桜 (就労継続支援B型)
〒824-0007 福岡県行橋市神田町9番8号 TEL: 0930-55-2744
※見学・体験のみも可能です。お気軽にお問い合わせ下さい。(担当: 長意・阿部)

助成とは？

例えばお年寄りの孤独を防止するため、お弁当を作って届けるボランティア活動を行おうとします。活動には材料費や、訪問のための交通費などが必要ですが、これらをすべて自分で負担することは大変です。そんな時 赤い羽根共同募金 から必要な資金を支援します。これを「助成」といいます。

町内の新1年生に毎年配られる黄色い帽子も赤い羽根共同募金から助成されています。



赤い羽根のマークがついています。

ふくし教室(福祉教育協力校)

児童・青少年福祉



みやこ町社会福祉協議会では、次世代を担う子どもたちの福祉への関心を高め、「誰もが安心して暮らせるみやこ町」を目指して「ふくし教室」を実施しています。ふくし教室では、地域の方々や福祉の専門職との交流を通して地域への愛着を育み、共に生きる力や郷土愛を養うことを目的に、地域や人を支えるために自分たちに何が出来るか考えられる講座を提供しています。令和5年度には、5校で16回教室を実施しました。



- ・障がいのある人も使いやすいように、お金や建物などに工夫がしてあることをはじめて知りました。(小学4年生)
- ・私の友達は補聴器をつけています。自分が出来る事でも、難しいことがあるとわかったので、お手伝いをしてあげたいと思いました。(小学4年生)
- ・お年寄りの皆さんとお話して、みやこ町に色々な歴史があることを知りました。(小学5年生)
- ・福祉のお仕事がこんなに種類があって、生まれてから亡くなるまで福祉が支えてくれていることを知って、興味を持ちました。(中学1年生)



みやこくらぶ 出産お祝い事業



地域で子どもと保護者を見守る主任児童委員が訪問し、お祝い品をお渡しします。(P4で活動状況を紹介します。)



障がい児・者福祉

身体障害者福祉協会

身体障害者福祉協会(身障協)では、会員同士の交流を深めるために、定期的におたのしみ会を開催しています。



7月18日、犀川いこいの里にて、身障協犀川支部のレクリエーション大会が開催されました。磁石でくつつくダーツでみなさん点数を競って楽しんでいました。また7月24日には、同じく犀川いこいの里にて、身障協全体会のピンゴ大会が開催され、交流を深めていました。

会長さんは、「担い手も会員も高齢になってきているが、独居の方も多く、家に閉じこもりがちのため、少しでも外出して家族以外と交流するきっかけになればと思い、お楽しみ会を実施することにした。」とおっしゃっていました。

どちらの開催日も、集まった会員の皆さんは、日々の暮らしのことや最近の話題など、とても嬉しそうにお話をされていました。



みやこくらぶ 出産お祝い事業



令和6年4月1日以降に生まれた赤ちゃんで、
生後6ヶ月までに申請された方が対象です。



みやこくらぶ出産お祝い事業は、赤い羽根共同募金に協力して頂いた皆様のお気持ちを祝い品として、地域で子ども達を見守る主任児童委員が訪問してお届けする事業です。生まれたお子様と保護者の方の初めての「地域とのつながり」を応援しています。

当事業をはじめるとあって、みやこ町社会福祉協議会とみやこ町主任児童委員で会議を重ね、この事業のテーマを「親子と地域のはじめてのつながり」としました。近年、みやこ町では、年間の出生数が減少傾向にあり、小学校の統廃合するなど子ども達が少なくなってきています。社協が地域を訪問すると、「最近スクールバスで通学する子どもも多く、子ども達の元気な声を聞く機会が減った。」という寂しげな住民の声をよく聞きます。そういった中で、これから子育てをする世帯は不安でいっぱいだと思います。そこで、安心して子育てをして頂くために、主任児童委員による訪問で地域と顔の見える関係性を築いて頂きたいと決めました。

勝山地区・犀川地区より申請を受け、主任児童委員が訪問してお祝い品をお届けしました。訪問したご家族へお祝い品をお渡しした後、出産のときの話や産後の不安などのお話を主任児童委員がお聞きしました。第1児の出産の際に、産後体調が優れなかったというお母さんは、今回の出産がとても不安だったとお話して頂きました。お父さんも育児休暇を取得することができ、今は少しホッとしていますとのことでした。



この事業は
赤い羽根共同募金
の助成を受けています。

令和6年度職員募集について



■みやこ町社会福祉協議会が求める人材

- ・みやこ町社会福祉協議会の理念「手と手をつなぎ 誰もが元気で安心して暮らしていくための福祉のまちづくり」の実現に向けて、地域の方と一緒に働き、成長できる職員
- ・これまでの経験等から得たことを活かし、仕事を通じて、何事も「やってみよう」とチャレンジ精神のある職員

1. 雇用形態 正規職員
2. 職種等 総合職 1名
※事務局職員として、地域福祉活動やボランティア活動の支援（育成、調整等）並びに相談援助業務、福祉サービス事業運営、総務他、社協全般の企画・運営に従事します。

3. 採用予定年月日 令和7年1月1日 1名

4. 応募資格
 - (1) 昭和59年（1984年）4月2日以降に生まれた者
 - (2) 社会福祉士資格取得者（取得見込者は対象から除く）
 - (3) 普通自動車運転免許取得者（AT限定可）
 - (4) 次のいずれにも該当しない者
 - ①禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ②日本国憲法施行の日以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

試験日程

- 1次試験
▼令和6年11月10日（日）
筆記試験（教養試験・性格特性検査）
- 2次試験
▼令和6年11月24日（日）
小論文・面接

□試験会場（1次試験・2次試験共通）
みやこ町コミュニティセンター「いこいの里」大会議室
福岡県京都郡みやこ町犀川古川50番地
電話：0930（42）1000

申込方法や勤務条件等については、みやこ町社会福祉協議会（0930-42-1000）へお問い合わせいただくか、
当会ホームページ（<https://miyako-syakyo.jp>）掲載の「令和6年度職員採用試験案内」をご確認下さい。

沼田さんと話そう!



in みやこ町

主催: 井戸端会議 / みやこ町社会福祉協議会
 後援: みやこ町 / みやこ町地域包括支援センター
 みやこ町介護支援専門員連絡協議会

～介護に翼、わたしと私の認知症への向き合い方～



9月1日(日)いこいの里にて、認知症講座「沼田さんと話そう! inみやこ町」を開催しました。当日は、住民の方をはじめ民生委員、介護支援専門員など60名近くが参加して下さいました。講座の主催であるみやこ町在宅介護者の会井戸端会議会長より挨拶があり、講座が始まりました。

講師である沼田賢一郎さん、眞由美さん夫妻と賢一郎さんが利用するデイサービスで社会福祉士を務める勅使河原航さんのそれぞれの立場からの「認知症」についておはなしをして頂きました。

認知症当事者 沼田 賢一郎さんのおはなし



賢一郎さんは、7年前70歳で認知症と診断をされ「人生が終わった」と思ったと言います。また、運転免許証を返納した際には、身をはがされるような気持ちにもなり、自分自身が思っていた以上に衝撃を受けたと当時の想いをお話して下さいました。家族の会などを通じて多くの方との出会いやふれあいがあり、今では明るく前向きになり、認知症の先駆者になるんだと強い想いが伝わってきました。

介護家族 沼田 眞由美さんのおはなし



眞由美さんは、夫が初期のアルツハイマー型認知症と診断された時には、自分自身の中にある認知症に対する偏見や差別にとっても苦しんだと言います。ドラマなどに出てくる認知症という言葉にさえ敏感に反応し番組を変えていました。家族の会に参加し、他の参加者のご家族の対応がとても自然で、自分は肩に力が入っていたのだと気づくことができ、それから自然な対応ができるようになったと気持ちの変化をお話して下さいました。

ふらっとハウス代表 社会福祉士 勅使河原 航さんのおはなし



勅使河原さんは、デイサービスを実施する上で利用されている認知症当事者の皆さんに沢山のことを教わると言います。その人にあった環境や役割があると考えており、その考えを大切にしています。利用者のご家族から、「ふらっとハウスを利用してから、家族の顔と名前を忘



れなくなった」と言われたことがとても印象に残っていると話して下さいました。利用される本人に寄り添うという事をとても大切にしていることが伝わりました。

質問コーナーでは、参加された方自身のことやご家族への対応についての質問や、お話を聞いての感想など沢山頂きました。質問に対して真摯にお答えいただく沼田さんから認知症への熱い想いをさらに感じる事が出来ました。

健康と快適、機能的な居住空間

住宅型 有料老人ホーム **錦陵の苑**

京都郡みやこ町節丸 941-3 TEL.0930-33-1450

入居者
募集中

介護の必要な方が利用できます。
お気軽にお電話ください。
体験利用有り。

併設事業所

- 地域密着型通所介護事業所
- 訪問介護事業所

利用料 100,000 円～ 120,000 円

食費	39,000 円
家賃	30,000 円～ 45,000 円
管理費	16,000 円
光熱水費	15,000 円～ 20,000 円

介護保険事業所利用可

社会福祉法人 **豊津福祉会**
<http://www.toyotufukushikai.or.jp/>

令和6年度 みやこ町戦没者・物故者合同追悼式



戦没者・物故者の皆様
のご冥福をお祈りいた
しますとともに、謹んで
哀悼の意を表します。

戦後79年が経ち、戦争を知る世代が高
齢化しております。追悼式は戦争の記
憶や平和の尊さをどのように次世代に
伝えていけばよいのか、現在も戦渦にあ
る諸外国へ何か出来ることがないか考
えさせられるきっかけとなります。

令和6年8月17日(土)にサン・グレー
トみやこにて令和6年度みやこ町戦没
者・物故者合同追悼式が執り行われま
した。中央の祭壇の花は犀川花熊から
みた馬ヶ岳の様子と裾のピンクの花は
今川の桜をイメージされています。
戦没者・物故者の関係者の皆様でご
参列の中、内田町長より追悼の言葉が述
べられました。



社会福祉法人育心会 犀川園よりお知らせ

福祉車両が納車されました！



公益財団法人JKA(競
輪・オートレース)の行う
補助事業を受け、犀川園
では車いす用電動リフト
のついた軽自動車を購入
いたしました。

車いすのまま乗降がで
きるため、ご利用者の
病院受診の送迎や外出支
援など移動を支援するこ
とが可能です。

今後、ご利用者様を乗
せて町内をたくさん走行
する予定です。



株式会社イトウ様より 消毒液等のご寄付をいただきました。



ご寄付頂いた消毒液に
ついては、みやこ町内の
福祉事業者、保育施設、
小中学校、近隣社会福祉
協議会などに配分させて
頂きました。

お渡しした方々からは「こんなに沢山いただいて嬉しいです」
など、喜びや感謝の言葉を多く頂きました。ご寄付いただき
ありがとうございました。

みやこ町緊急支援ネットワーク事業

「どこに相談してよいかわからない。」
「相談に行きたいけど行く手段がない。」

緊急支援ネットワークは、どこにでもお伺いして相談を受け付けています。お気軽にご連絡ください。

受付時間 毎週 月～金曜日

お問合せ 犀川本所：相談員
☎42-1000

ボランティアをしたい人・ボランティアに来てほしい人

みやこ町ボランティアセンターに登録しませんか？

「ちょっと話を聞いてくれるボランティアさんいないかな」「施設に来て利用者さんと一緒に楽しく過ごしてくれるボランティアさんいないかな」というボランティアに来てほしい人。その双方をつなげて、お互いによりよい活動ができるようにコーディネートしていくのがボランティアセンターの役割です。ボランティアには様々な形態があります。まずは、相談、登録をしてみませんか？

社会福祉法人 豊勝会

【みやこ町勝山大久保3224-1】 【豊前市大字松江968-1】

◎特別養護老人ホーム勝山苑 ◎養護老人ホーム向陽荘

(併設) ・ショートステイ・デイサービス
・勝山(放課後)児童クラブ

☎0930-32-4775

☎0979-82-2721

◎地域包括支援センター

☎0930-32-8032

*介護でお困りの方
*介護に興味をお持ちの方
*いつでもお電話ください。

造園サービス 地域No.1目指します

草、刈ります！ 取ります！ 枯らします！

※お見積無料です。新規お客様は値引きさせていただきます。
※継続利用でさらにお得なサービスあり！
※草刈り後除草剤散布も可能です。お気軽にお尋ね下さい。

庭木せん定・消毒で美しい庭！

※垣根の整え剪定等、定期的な枝透かしで美しい庭を保てます◎

その他、なんでも便利屋

・木々の伐採 ・片づけ処分 ・大掃除 ・ワックスがけ
・引越 ・家具移動 ・害虫害獣駆除等 ☆ご相談下さい

<<< 受付時間 9:30~17:30 >>>

TEL:0930-24-8866 / 携帯:090-5474-1823 (宮本)
社会福祉法人 共生の里 夢活動センター行橋

ひとりで抱え込まないで！

気軽によっといで!! 今風、井戸端会議

介護をしている仲間同士が集まり、語り合い、経験を出し合い、情報や知識を学び、少しでもその負担を軽くすることができればと願わずにはられません。

どうぞ、おひとりで抱え込まないで、お気軽に「井戸端会議」に参加してみませんか。新しい出会いや発見があるかもしれません。介護に関する日ごろの悩みや不安、何でも結構です。大いに語り合い、心を癒しあいましょう。そして、気持ちを新たに、元気を分かちあいませんか。

対象 介護で悩みや不安を抱えている方

日程 10月26日(土) 11月23日(土) 12月21日(土)

場所 コミュニティセンターいこいの里(犀川)

時間 9時30分～11時30分

参加費 無料

※時間内であれば、ご都合の良い時間から参加できます。

みやこくらぶ

みやこ町社会福祉協議会の
イメージキャラクター



お年寄りや障がいのある方、
子ども達など誰もが安心して暮らせる町を
目指してみやこ町社会福祉協議会と一緒に
「ふくしのまちづくり」を頑張っています。

賛助会員(みやこくらぶ会員) 一口年間 年額1,000円

賛助会員は、みやこ町社会福祉協議会の活動に賛同して頂ける方にご加入頂いております。私ども社会福祉協議会とともに「ふくしのまちづくり」にご参加いただけますよう、どうぞご趣旨をご理解いただきまして、会員にご加入いただくようお願いいたします。

ご加入いただいた方への返礼として、みやこくらぶオリジナルトートバック(A4サイズ)をお渡しさせていただきます。加入申請時、ご希望するデザインをお申し付け下さい。社協事務所・町内イベント等でもご寄付を受け付けております。よろしく願いたします。



社会福祉法人 犀川福祉会

入居者・入所者募集 ※随時内覧いただけます。

内覧希望お問い合わせ先
〒824-0225 福岡県京都郡みやこ町犀川大坂1194番地9

障害者支援施設 **さいがわ学園**
グループホーム **さいがわ**

TEL:0930-42-2700



みんなでお出かけしました!



いきがいデイサービスでは、田川市伊田にある三井寺へお出かけをしました。境内にはこの時期になると、沢山の風鈴が飾り付けられ、風に揺られて涼やかな音色を奏でています。ひとつひとつの風鈴には、お参りに来られた方の願い事が込められています。境内を散策していると、どこからかシャボン玉がふわふわと飛び始めました。決まった時間になるとシャボン玉が飛び始める演出がされているそうです。風鈴とあわさって幻想的な風景で、思わずうっとりしてしまいました。近くの食堂で美味しいご飯も頂いて大満足の日でした。

ご寄付ありがとうございました! (令和6年6月1日~令和6年8月31日受付分)

下記の皆さまからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますと共に、心より故人への哀悼の意を表します。なお、お寄せいただいた寄付金は地域で行うサロン活動や要援護者に対する支援など、地域福祉の充実のため有意義に使用させていただきます。(敬称略)

《 犀川地区 香典返し寄付 》

寄付者ご芳名	故人のお名前
木本 信秀	木本 秀子
有益 孝彦	有益 正美
齊藤 桃枝	齊藤 正幸
藤本 良一	藤本キクエ
末廣百合子	末廣 幸雄
内山 知史	内山なほみ
小畑エイ子	小畑 隆司
柳谷 英樹	柳谷 栄子
楠木 幸子	楠木 新弘
西川 春治	西川千代子

《 豊津地区 香典返し寄付 》

寄付者ご芳名	故人のお名前
河浦 和枝	河浦 信義
西田 博	西田 信子
安藤千恵子	安藤 重信
山本 定信	山本 静枝
安田 久美子	安田 利夫

《 勝山地区 香典返し寄付 》

寄付者ご芳名	故人のお名前
有門 吉彰	有門ツギ子
毛利 秀美	毛利 元憲
佐古 泰治	佐古チエコ
片宗 哲博	片宗茂満廣

《 一般寄付 》

寄付者ご芳名	
上田 豊志	上田 敏子

※個人情報保護のため、寄付者などのお名前を掲載する際にはご本人または、ご家族のご了解をいただいています。



◆今年7月より新たなデザインとなった紙幣ですが、よく見かけられるようになってきました。私も初めて新紙幣を手にした時は立体的なホログラムを動かして感動しました。新紙幣には、旧紙幣と同様に視覚障がいのある方が触って紙幣の種類がわかるように識別マークと呼ばれる凹凸のある印刷がされています。旧紙幣では、紙幣の同じ位置に異なる形の識別マークが印刷されていましたが、新紙幣には、紙幣の種類によって異なる位置に印刷がされているという事で、より識別しやすいように工夫がされているようです。毎年、みやこ町社協では町内の小中学校に福祉教育を行っており、全体的に人が使いやすい、ユニバーサルデザインについても学んでいます。お店でお釣りを受取る際に、新紙幣が混じっているという一瞬あれ?と思うので、新しいデザインに慣れるまでには、まだまだ時間がかかりそうですね。

◆新紙幣の一万円札の肖像に選ばれた渋沢栄一といえは、日本初の銀行を設立したことなど経済の分野で功績を残した方として知られていますが、実は全国社会福祉協議会の前身となった中央慈善協会の初代会長に任命されています。渋沢は約600もの慈善事業や、教育・研究機関の設立に尽力し、息を引き取る直前まで孤児の支援や困窮者の支援をしていたという、経済と社会福祉の二つの分野で活躍をした人物でした。◆渋沢は、経済の発展をするためには、私益だけではなく公益を追求することが必要不可欠と考えました。つまり、「多くの人の幸せの実現」を目指すことと同時に、経済を発展させることを理念としていました。戦争や災害で家族を失った子ども達が将来日本を支える人となるように、安心して暮らせる場所と教育の機会を提供したり、関東大震災によって被災した人達のために、自ら食料を調達して配給するなどの活動を行いました。この私益だけでなく公益を追求する理念は、現在にも受け継がれています。新紙幣の肖像となった渋沢栄一の福祉への貢献を知って多くの人が福祉に興味を持って頂けたらと思います。北崎

編集後記

すべてのお問い合わせは下記連絡先へお願いいたします。

編集・発行 社会福祉法人みやこ町社会福祉協議会

犀川本所 〒824-0217 京都郡みやこ町犀川古川50番地
みやこ町コミュニティセンター「いこいの里」内
Tel:0930-42-1000 Fax:0930-42-1719
E-mail miyakotown@miyako-swc.co.jp
HPアドレス https://miyako-syakyo.jp



印刷 築上印刷 有限会社

社協だよりは、赤い羽根共同基金の配分金・寄付金によって作成しています。